

## ◇ 平成5年度全国標準積算資料説明会開催報告 ◇

……山形県 秋田県……

積算委員会

東北地質調査業協会積算委員会では、平成6年2月9日～10日の両日、平成5年度の全国標準積算資料説明会を、山形、秋田両県にて、開催いたしました。

2月9日は、会場を山形県天童市にて、昨年の『べにばな国体』会場の山形県総合運動公園内施設を利用して、午後1時より4時までの3時間、県内の中央官庁、県土木事務所、農林土地改良、地元市町村の技術担当者120余名が出席のもと開催されました。

当日は、天候にも恵まれ、米沢、庄内方面の遠隔地よりの参加者も見受けられ、開催予定時間の午後1時には、会場は満員の状況になりました。

はじめに、東北地質調査業協会の永井理事長の挨拶で始まり、次に、今回の開催につきまして大変お世話になりました協賛の山形県さく井地質調査業協会の奥山副理事長（東北地質調査業協会理事）より挨拶をいただき説明会に入りました。

講師として全地連の矢島専務理事をお招きし、テキストは、平成6年度改訂の調査編、5年度改訂の工事編、それと全地連発行の連合会パンフレットを使用しました。

2月10日は、会場を秋田市に移し、県庁南隣の『みずほ苑』にて、中央官庁、及び秋田県下の土木関係技術者を対象に開催いたしました。

協賛の秋田県地質調査さく井業協会の協力で、県土木幹部の承認もいただき、多数の参加申し込みのため、一部テキストの不足が生じ2人で1冊の方もいました。

挨拶には、奥山ボーリング㈱奥山社長（東北地質調査業協会理事）に、協会を代表してお願いいたしました。

講義内容として今回は、協会員の皆様にご覧に2月初旬に配布ずみの調査編の主な改訂箇所より、特にコンサルティング業務費、探査、計測のジオトモグラフィ追加箇所、仮設費の計上を詳細に説明していただきました。また、工事編についても、主な改訂箇所を重点的に説明いたしました。

この度、調査編が従来の大きさから、B5版になり内容もより一層充実し、構成図、図表、略図等をふんだんに取り入れ、分り易く、使い易くなったのが大きな特徴といえま



しょう。工事編につきましても、次回より、同じ大きさになるそうです。

全地連の積算委員会の編集方針として、この『積算資料』が、積算時の参考資料としての役割の位置づけと、土木技術者の実務参考書として、既存の参考書より、よりすぐれていると自負をもって編集にあたられておりますので是非、P. R. をお願い致します。

また、当協会の委員会活動の一つとしての、『積算資料説明会』も、年2カ所の開催が定着し、受け入れ側の官庁も、3年に一度のため、職員の出席に対し部内で、前回の事例が良いので、円滑に理解をいただけるようになりました。

最後に、今回の開催にあたり、地元協賛協会の会員の皆様と、担当理事の方々には、御多忙の中、ご協力をいただき心から厚くお礼申し上げます。

